

健福大同窓会「四国八十八巡礼」に参加して

13期生 村田 学

4～5年前、作家の早坂暁氏の講演を聞く機会がありました。その時の話は四国遍路の話で、四国巡礼の旅は一度はやっておきなさい、プラスになると言う話でした。

何時かチャンスがあれば体験したいと思っていた所へ、今回の福大同窓会企画のバスツアーが計画されると聞きすぐに飛びつきました。

今回で4回目、18ヶ寺を訪ねた事になります。寺に着いて手を清め、ろうそく、線香、お札収め、読経の作法を済ませ急いでバスに帰ります。この繰り返しを一日4～5回、何か疑問を感じ迷いは増すばかりです。

生まれてこの年に成る迄、お経など唱えた事の無い自分が意味不明のお経を唱えている事に疑問を感じています。せめてお経の意味を理解してみようと思うようになり「般若心経会読書」「新解釈凡人による凡人のための般若心経」を勉強中です。

それで今理解出来た事は、釈迦の入滅後百年が経過した今から2,000年前頃古代インドの高僧達によって釈迦の教えをサンスクリット語に編纂された経典を、三蔵法師がサンスクリット語から漢文に訳し276文字に書き表した物であるという事です。しかし276文字の意味は未だ理解できません。誰か理解して下さい。待っています…